

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
 2. 国土交通省建設専門紙記者会
 3. 国土交通省交通運輸記者会
 4. 筑波研究学園都市記者会
 5. 福井市下水道部及び富山市上下水道局
- 平成28年5月18日同時配布

平成28年5月18日
国土交通省
国土技術政策総合研究所

監視・予測によって都市の雨水を管理し浸水被害軽減を目指す実証施設が稼働

～降雨状況、下水管内水位計等を監視し、リアルタイムに浸水被害を予測～

国総研では、国土交通省が進めるB-DASHプロジェクトにおいて、**都市における浸水被害軽減を目指し「都市域における局所的集中豪雨に対する雨水管理技術」**について実証事業を進めています。今般、**その実証施設が完成し、福井市長参加の下、5月24、25日に完成披露会が開催されるのでご案内いたします。**なおこの研究は、国総研の委託研究として、民間企業・地方公共団体・大学が連携し実施しています。

1. 背景

国土交通省では、下水道における新技術の研究開発、実用化および国内外への普及展開を推進するため、下水道革新的技術実証事業（B-DASHプロジェクト※）を実施しています。「都市域における局所的集中豪雨に対する雨水管理技術」は、その一環として近年の集中豪雨・局地的大雨の発生頻度増加を踏まえ、国総研からの委託研究として平成27年度から実施しているものです。

※ B-DASH プロジェクト：Breakthrough by Dynamic Approach in Sewage High Technology Project

2. 実証研究の概要

研究委託者：国総研

研究体：メタウォーター(株)・(株)新日本コンサルタント・古野電気(株)・江守商事(株)・

(株)日水コン・神戸大学・福井市・富山市 共同研究体

場 所：福井市内および富山市内

内 容：本実証研究では都市内の降雨状況や下水道管内水位、浸水状況をリアルタイムで監視・予測し、それらの情報を浸水対策施設の管理者や地域住民に提供する技術の効果を検証します。本施設には複数の小型レーダーによる都市域レーダー網や下水管内水位計等による監視機能、短時間降雨・浸水予測機能、情報配信機能を組み合わせたシステムが実装されています。

3. 完成披露会

○日時 平成28年5月24日（火）および平成28年5月25日（水）

平成28年5月24日（火）

・時 間 13:00 から 17:30 まで（受付:11:45～）

・場 所 福井県福井市毛矢1丁目6番地23 江守商事株式会社 本社ビル4階 大会議室 ほか

平成28年5月25日（水）

・時 間 13:30 から 16:45 まで（受付:12:00～）

・場 所 富山県富山市大手町2-3 ANAクラウンプラザホテル富山3階 ASUKA ほか

○主催者 メタウォーター(株)・(株)新日本コンサルタント・古野電気(株)・江守商事(株)・

(株)日水コン・神戸大学・福井市・富山市 共同研究体

4. 参加申し込みおよび問い合わせ先

マスコミの方の完成披露会への参加については別紙の宛先にお申し込み下さい。完成披露会への参加に関係する事項もこちらにお問い合わせください。その他については下記問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

国土技術政策総合研究所 下水道研究部下水道研究室 横田・松浦

TEL:029-864-3343 FAX:029-864-2817 E-mail:gesuidou@nilim.go.jp

完成披露会のお問い合わせ、および披露会への参加については、必要事項をご記入の上、5月23日（月）正午までに下記までお申し込み下さい。

メタウォーター（株）
CSR 推進室
広報 IR 部 英 克文宛

TEL 03-6853-7317 Fax 03-6853-8709
E-mail: hanabusa-katsufumi@metawater.co.jp

国土交通省 下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト）
「都市域における局所的集中豪雨に対する雨水管理技術に関する実証研究」

完成披露会 取材申込書

会社名	氏名	連絡先（携帯番号等）

【参加希望日】 ※以下に○をつけてください。

両日とも参加 24日（火）のみ参加 25日のみ参加

【その他】 ※何か要望があれば記載ください。

都市域における局所的集中豪雨に対する雨水管理技術実証事業

実証事業実施者

メタウォーター(株)・(株)新日本コンサルタント・古野電気(株)・江守商事(株)・(株)日水コン・神戸大学・福井市・富山市 共同研究体

実証フィールド

福井市:(自助支援)橋南、加茂河原・小山谷排水区 238ha、(施設運転支援)狐川右岸第6、下北野排水区 284ha

富山市:(自助支援)呉羽排水区 200ha

実証の概要

「都市域レーダシステム」、「短時間降雨予測モデル」、「高速流出解析システム」を組み合わせた雨水管理技術を導入することにより、自助・共助の促進に係る情報の活用や雨水貯留施設能力の最大活用等について検証し、**浸水被害軽減効果等を実証**します。



○提案技術の革新性等の特徴

- (1) 小型で安価な降雨レーダを複数設置し、積乱雲等を早期かつ着実にキャッチすることで、今降っている雨の量を正確に計測します。
- (2) 「短時間降雨予測モデル」によりこれから降る雨の量や場所を予測します。
- (3) (1)および(2)の情報に基づいて、「高速流出解析システム」で短時間に解析することで、いち早くどこのエリアで、どれだけ溢れるか、また、**雨水貯留施設等にどれだけ雨が流入するかを予測し、リアルタイムに情報を配信**します。
- (4) 配信情報を活用することで、避難や土のう等の設置に対応する時間の確保が可能となり、また、雨水貯留施設の排水ポンプを放流先の状況に応じて、できる限り排水することで貯留量を最大限確保することが可能となり、**浸水被害の軽減を実現**します。